

平成30年10月11日(木) 13025号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

8月生産動態統計

電気銅・亜鉛が増加

アルミ二次合金はマイナス

経済産業省が発表した2018年8月の生産動態統計(速報値)によると、非鉄金属では、電気銅や亜鉛の生産数量が前年同月比でプラスだった。一方、アルミニウム二次合金地金はマイナスに転じた。

電気銅地金の生産数量は13万4,956トンで、前年同月比4.0%増加。前月比でも1.2%のプラスだった。亜鉛地金は3万7,403トンで、前月比2.9%、前年同月比1.6%それぞれ増加した。

合金地金では、アルミニウム合金地金が前月に比べ3.0%増の3,019トン。前年同月比でも1.0%増加した。アルミニウム二次合金地金は前年同月比7.3%減の8万0,219トン、前月比でも25.1%の大幅減となり、10万トンの水準を割り込んだ。

鋳物では、アルミニウム鋳物が3万4,045トンで前年同月比6.0%増加。アルミニウムダイカストは7万9,568トンで5.2%増加し、堅固い状況が継続。銅・銅合金鋳物は0.8%減の5,914トンだった

18年8月生産動態統計(速報値)

品目	生産(トン)	前年同月比(%)
電気銅	134,956	4.0
亜鉛	37,403	1.6
伸銅品	59,962	0.0
アルミニウム圧延品・板	86,218	▲8.6
アルミニウム圧延品・押出	57,992	▲3.6
アルミニウム箔	8,569	3.9
アルミニウム合金地金	3,019	1.0
アルミニウム二次合金地金	80,219	▲7.3
アルミニウム鋳物	34,044	6.0
アルミニウムダイカスト	79,568	5.2
巻線	9,500	0.0
電力用電線・ケーブル	17,250	2.6
通信用ケーブル		
光ファイバー製品(※)	1,009,389	16.9

※通信用ケーブル光ファイバー製品の単位はキロメートルコア(kmc)

▲はマイナス

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

同省のまとめでは、伸銅品は前年同月比ほぼ横ばいの5万9,962トン。アルミニウム圧延品の板製品は8.6%減の8万6,218トン、押出製品は3.6%減の5万7,992トン、箔は3.9%増の8,569トンだった。

電線・ケーブルでは、巻線が前年同月比ほぼ横ばいの9,500トン。電力用電線・ケーブルは、2.6%増の1万7,250トンだった。通信用ケーブル光ファイバー製品の生産数量は100万9,389キロメートルコアで、前月比5.9%、前年同月比16.9%それぞれ増加。7月のマイナスからプラスに転じた。

社会の発展とその未来に
 テクノロジーで対応する

KYOWA

地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

http://www.kyowadensen.co.jp/

 協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

世界最大規模のアルミ産業見本市

「ALUMINIUM 2018」に出展

UACJ

UACJ(石原美幸社長)は、ドイツのデュッセルドルフ市で開催された世界最大規模のアルミニウム産業展「ALUMINIUM 2018」に出展した。

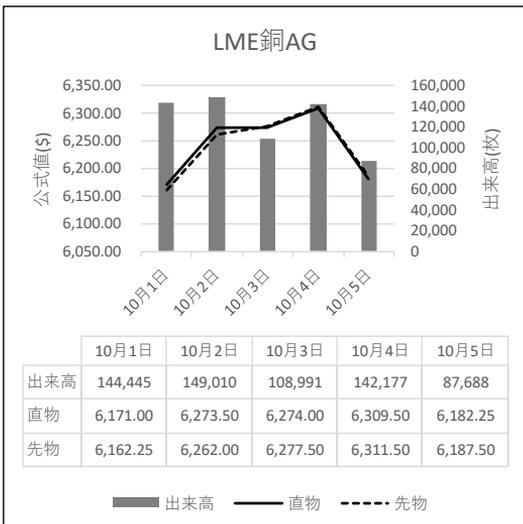
同社の展示ブースでは、世界中で需要の拡大が進む自動車パネル用アルミニウム材、グローバル展開をしている自動車用熱交換器材や、世界シェアの高いコンプレッサホイールなど高付加価値アルミニウム製品を展示。欧州地域では、自動車用熱交換器材の販売を行う「UACJ ELVAL HEAT EXCHANGER MATERIALS GmbH」と自動車用熱交換器用アルミニウム押出製品を製造・販売する「UACJ Extrusion Czech s.r.o.」を傘下に擁しており、グループのさらなる認知拡大を図る。

「ALUMINIUM」は2年に1回開かれ、今回で12回目。



展示ブースのイメージ

LME公式値週間推移 10月1日～5日(現地)



UACJは、2010年に日本のアルミニウム圧延メーカーとして初出展した。前回の「ALUMINIUM 2016」では、992社が出展、日本からは4社が参加し、入場者数は24,373名だった。今回も約1,000社、日本からも同社を含め4社が出展している。

アルミニウム地金
アルミニウム原料
熟練ポット炉技術で歩留まりUP!

井関金属株式会社

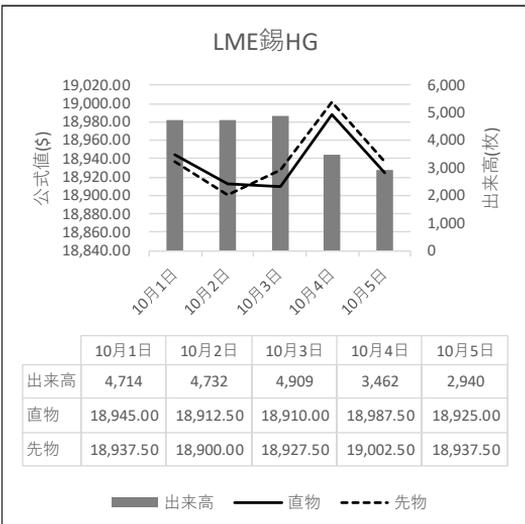
代表取締役 井関親亮
〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾 407
☎ 072-361-3333 fax 072-362-7667

2018年度下半期生産計画

パンパシフィック・銅

パンパシフィック・銅が発表した2018年度下半期(18年10月～19年3月)の生産予定数量は、銅が前年同期比11.0%増の29万6,800トンの見通しとした。佐賀関精錬所では、前年同期に定修が行われた関係で、今年は増産となる計画。日比共同製錬の同社持ちは3.8%の減少となる見通し。

	生産予定数量	前年同期比(%)
銅(トン)	296,800	11.0
硫酸(トン)	861,900	33.9
金(キロ)	17,800	13.4
銀(キロ)	156,800	4.1



銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



9月の銅の概況及び10月の見通し (1)

	予想レンジ	
LMEセツル	5,900-6,400ドル	☀
建値	700-770円	☀
為替	111~114円	☀

(1か月間TTM)

■国際概況

前半は、トランプ米大統領が7日にも2,000億ドル相当の中国製輸入製品に対して25%の上乗せ関税を課し、中国政府は関税が発動されれば報復措置を講じると警告するなどのマイナス材料もあったが、トランプ政権が通商問題で中国政府と交渉の場を持つことに意欲を示していること、中国の8月の製造業PMIが51.3に上昇したと発表。予想は51.0への低下だったなどを好感しUP。

9月15日時点で5946.5ドル(セツル)と月初価格より95ドル安の前半締めとなった。後半は、トランプ政権が24日から中国の輸入品2,000億ドルに10%の追加関税を課し、中国も報復関税を発動した。中国政府高官が米との貿易交渉を一旦取りやめたと報じられ、米中双方の歩み寄りが難しいとの見方が市場心理を冷やした、などの悪材料もあったが、米国とカナダが北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉で妥結し、米国を中心とした貿易摩擦を巡る不透明感がやや晴れたなどを好感しUP。

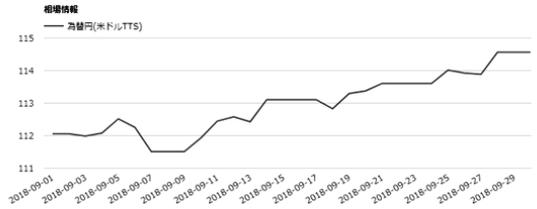
10月2日現在、後半スタート価格から312ドルUPの6,172ドル。

建値75万円のスタート。

■前月の経済指標

◆月間のドル/円レート(TTS)

111.19→113.74(円)



出展 MIRU

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると7月の自動車生産台数は前年比-2%の80万1,778台であった。

	5月	6月	7月
生産台数	72万5216台	82万22723台	80万17782台
前年比	+4.6%	-4.4%	-2%

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると9月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-3.1%の30万8,324台。

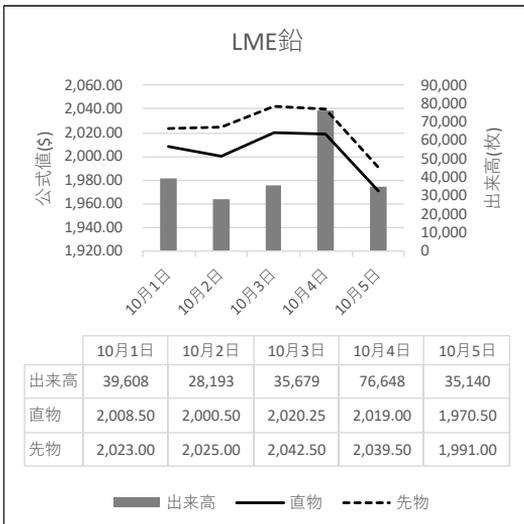
	7月	8月	9月
販売台数	2万8176台	23万3358台	30万8324台
前年比	+1.2%	-0.2%	-3.1%

【次号へ続く】

アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社 原田商店

代表取締役 原田 靖章
〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128



故銅市況

10日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物前場売値が、前日の6,169.00ドルより50.00ドル高の6,219.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,186.50ドルより43.00ドル高の6,229.50ドル。カーブ取引は前日の6,177.50ドル～6,178.00ドルより114.50ドル～115.00ドル高の6,292.00ドル～6,293.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の275.50より4.00セント高の279.50セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の5万0,220元より290元高の5万0,510元。

10日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.97円より0.09円の円安ドル高の1ドル＝114.06円。NYカーブLME先物比は68.50ドル高。10日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,219.00ドル。この値と10日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万3,000円より6,000円高の74万9,000円。この日、電気銅建値は75万円に据え置かれた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～624、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは600～605、並銅は539～544、込銅（高品位＝約97%）は499、セバは536～541。コーベルは要り用筋で467、それ以外は459ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋422、それ以外405～430どころの値頃。並青銅鋳物削粉は468～473どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が602～607、上銅新しくずが589～609、普通上銅が556～566、2号銅線が562～572、並銅が527～528、込銅（90-93%）が486～453、下銅が312～362、セバが503～513、コーベルが459～499、黄銅棒地が455～460、黄銅削粉が363～410、黄銅ラジが412～420、交叉ラジが340～351、黄銅銅鋳物が374～381、送りが173～188、上青銅鋳物が478～494、並青銅鋳物が470～483、上青銅鋳物削粉が475～494、並青銅鋳物削粉が468～472どころ。

為替動向

9日から10日午前にかけての外国為替市場で、円相場は1ドル＝113円近傍での値動きとなった。

10日の東京外国為替市場、午前9時現在の気配値は、1ドル＝113.00円～113.03円、前日の17時時点に比べ0.30円の円高・ドル安。

9日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前日比同水準の1ドル＝113.10円～113.20円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前週5日比0.76円の円高・ドル安、1ドル＝112.91円～113.01円で取引を終了した。

国際通貨基金（IMF）は世界経済見通しを発表し、対中制裁関税等、米国の保護貿易主義を要因として2018年と2019年の成長率を引き下げた。また、米トランプ大統領が連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ方針に対し「急ぐことはない」と改めて不満を表明。米国を含む世界経済の先行き不透明感から、低リスク通貨とされる円が買われやすい地合いとなった。米長期金利が低下したことも日米金利差の拡大観測の後退を誘った。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.87円～113.33円だった。

東京市場でも、米長期金利の低下を受け円買い・ドル売りが先行した。前日の東京市場で、円相場は112円台に入りながらその後押し戻されたが、10日午前の取引では再び112円台をうかがう展開となった。



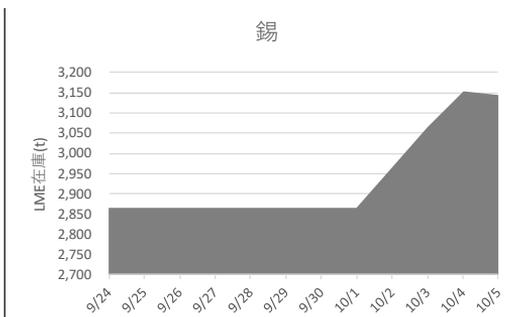
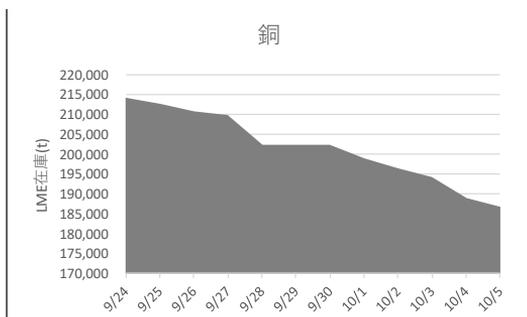
鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中 1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5
電話 06-6561-7331～2

LME認定倉庫在庫量推移 9月24日～10月5日（現地）





LME銅は反発 コデルコのニュースを好感
カーブ取引は続伸 COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場は反発
LME非鉄相場はまちまち アルミ合金は急伸、直物はおよそ9%高、3か月物もおよそ5%高

10日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,168.50ドルより50.00ドル高の6,218.50ドル。3か月物も、前日の6,174.75ドルより43.75ドル高の6,218.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の18万2,000トンより約4,000トン減のおよそ17万8,000トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（10月限）は、前日の275.50セントより4.00セント高の279.50セント。カーブ取引は、前日の6,177.50ドル～6,178.00ドルより114.50ドル～115.00ドル高の6,292.00ドル～6,293.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（10月限）は、前日の5万0,220元より290元高の5万0,510元。

チリ銅会社のコデルコが2019年中に鉱山の抜本的改革のため10億ドルの融資が必要と伝えられたことを材料に、銅は終盤にかけて買われた。

錫は反落

LME錫相場の直物は、前日の1万8,980.00ドルより17.50ドル安の1万8,962.50ドル。3か月物も、前日の1万8,987.50ドルより42.50ドル安の1万8,945.00ドル。

鉛も反落

LME鉛相場の直物は、前日の1,980.50ドルより47.00ドル安の1,933.50ドル。3か月物も、前日の1,999.75ドルより40.75ドル安の1,959.00ドル。

亜鉛は上伸

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,648.50ドルより42.75ドル高の2,691.25ドル。3か月物も、前日の2,607.00ドルより54.50ドル高の2,661.50ドル。

アルミは続落 アルミ合金は急伸 北米特殊アルミ合金は反落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,073.25ドルより42.00ドル安の2,031.25ドル。3か月物も、前日の2,078.25ドルより37.75ドル安の2,040.50ドル。LMEアルミ合金相場は急騰した。直物が前日の1,360.00ドルより115.00ドル高の1,475.00ドル。3か月物も、前日の1,485.00ドルより75.00ドル高の1,560.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,520.00ドルより20.00ドル安の1,500.00ドル。3か月物も、前日の1,555.00ドルより52.50ドル安の1,502.50ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ96万3,000トンより約7,000トン減のおよそ95万6,000トン。

ニッケルは上伸

LMEニッケル相場の直物は、前日の12,390.00ドルより265.00ドル高の12,655.00ドル。3か月物も、前日の12,477.50ドルより265.00ドル高の12,742.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(10月前半)

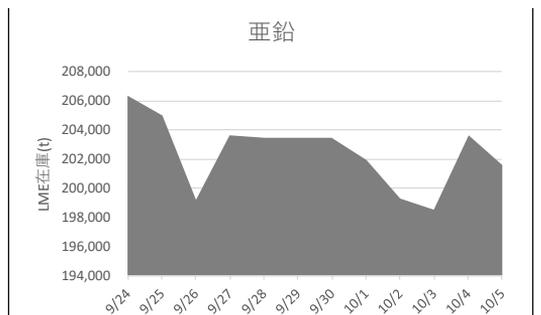
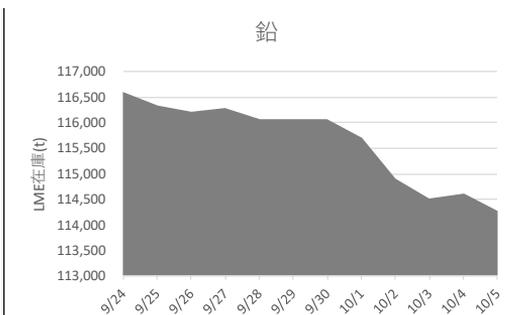
2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

関西地区(10月前半)

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ドライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

LME公式値（単位：ドル）／10月9日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,218.50	18,962.50	1,933.50	2,691.25	2,031.25	1,475.00	1,500.00	12,655.00
	前営業日比	50.00	▲ 17.50	▲ 47.00	42.75	▲ 42.00	115.00	▲ 20.00	265.00
先物	公式値	6,218.50	18,945.00	1,959.00	2,661.50	2,040.50	1,560.00	1,502.50	12,742.50
	前営業日比	43.75	▲ 42.50	▲ 40.75	54.50	▲ 37.75	75.00	▲ 52.50	265.00



海外非鉄金属相場

(10月10日 入電・現地 10月9日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with 4 columns: 前買, 場売, 後買, 場売

銅 A G
現物 6218.0 6219.0 6229.5 6231.5
前日比 50.0 43.0
先物 6218.0 6219.0 6226.0 6228.0
出来高 139,577

錫 H G
現物 18950.0 18975.0 18915.0 18965.0
前日比 ▲ 10.0 ▲ 55.0
先物 18940.0 18950.0 18925.0 18975.0
出来高 5,429

鉛
現物 1933.0 1934.0 1927.0 1929.0
前日比 ▲ 47.0 ▲ 36.0
先物 1958.0 1960.0 1952.0 1954.0
出来高 58,679

亜鉛 S H G
現物 2691.0 2691.5 2714.0 2716.0
前日比 42.5 82.0
先物 2661.0 2662.0 2679.0 2681.0
出来高 160,000

アルミ H G
現物 2031.0 2031.5 2034.5 2036.5
前日比 ▲ 42.0 ▲ 32.0
先物 2040.0 2041.0 2040.0 2042.0
出来高 260,911

アルミ合金
現物 1450.0 1500.0 1487.0 1497.0
前日比 130.0 76.0
先物 1555.0 1565.0 1535.0 1545.0
出来高 306

北米特殊アルミ合金
現物 1495.0 1505.0 1488.5 1498.5
前日比 ▲ 16.0 ▲ 23.0
出来高 662

ニッケル
現物 12650.0 12660.0 12745.0 12755.0
前日比 265.0 280.0
先物 12740.0 12745.0 12825.0 12835.0
出来高 102,524

NY コメックス相場

出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with 6 columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム
10月限 279.50 1187.2 1432.9 825.6 1080.10
11月限 280.00 1188.8 1435.8 825.9 1078.70
12月限 280.65 1191.5 1440.0 827.5 1062.10
1月限 281.55 - 1444.0 828.9 -
2月限 282.40 1197.4 - - -
前日比 4.00 2.8 7.0 11.5 ▲ 6.80
出来高 124,506 239,945 63,403 - 3,410

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with 11 columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
T T S 6219 18975 1934 2692 2032 12660 280 50510 14495 23295 18430
114.06 6258 2364 258 347 243 1644 747 839 241 387 306
+0.09 + 5516 + 1 - 6 + 5 - 4 + 31 + 10 - 8 + 0 + 2 - 3

フリー・マーケット

米国生産者価格

銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)H H社 1441.3

NY相場

取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

ロンドン相場(ドル)

金(オンス) 1185.6
アンチモン99.6%(トン) 8500 - 8700
ピスマス99.99%(ポンド) 4.40 - 4.70
カドミウム99.99%(ポンド) 1.25 - 1.35
インジウム99.97%(キロ) 275 - 290
セレンウム99.5%(ポンド) 13.50 - 14.50
スポンジチタン99.5%(キロ) 7.30 - 8.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.60
コバルトカソード99.8%(ポンド) 33.00 - 34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2450 - 2600
タングステンAPT(MTU単位) 280 - 300
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 90 - 100

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table with 3 columns: (9日), (10日)
相場 78.75 78.62
出来高 27 37
ドル建て価格 18940 18930
O D レート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.1581 4.1532
採算円/キロ 2392 2390
U S \$ 採算円/キロ 2163 2164

L M E 在庫(トン)

Table with 3 columns: 在庫, 増減
銅 177,850 ▲ 4,125
錫 3,195 0
鉛 116,350 2,200
亜鉛 198,175 ▲ 2,175
アルミ 955,950 ▲ 7,400
アルミ合金 14,040 220
北米特殊A L 合金 147,440 ▲ 120
ニッケル 226,044 ▲ 432

コメックス銅在庫(トン)

168,754 ▲ 671
上海在庫(トン) 銅 111,995 966
(9/28 現在) アルミ 832,256 ▲ 10,374
亜鉛 29,204 ▲ 4,615
鉛 11,642 ▲ 2,913

NYカーブ

銅 6294.00 ~ 6295.00 98.50
アルミ 2055.50 ~ 2056.50 ▲ 11.50

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込

Table with 5 columns: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛
10月限 50510 14495 23295 18430
11月限 50300 14515 22425 18165
前日比 290 160 460 95
出来高 36010 11920 23650 4280

非鉄金属製品相場

(10月10日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	
銅小板2.0ミリ	980	1010	亜鉛板0.3×3×7	620	620	
建築用0.3ミリ	990	1020	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800	
銅大板2×1×2	1150	1210	給水管13ミリ	310	310	
銅管(ベース)	1180	1200	鉛板1.5ミリ	340	340	
水道用管(m当たり)13ミリ	840	880	鉛線3ミリ	465	475	
銅棒25ミリ	950	1010	軽圧品(仲値)	大阪	東京	
銅条1.5×100	960	1010	アルミ箔0.007ミリ	945	935	
銅線0.9ミリ	1040	1070	〃 小板1ミリ	520	510	
銅帯6×50	960	1010	〃 大板1ミリ	510	500	
銅平角線	1240	1250	〃 5052板	650	550	
黄銅小板2.0ミリ	845	870	〃 5083板	665	565	
〃 0.3ミリ	870	890	〃 2017板	1035	925	
黄銅大板2×1×2	1025	1080	〃 線3ミリ	645	560	
黄銅管	1360	1310	〃 快削棒25ミリ	785	780	
復水器用黄銅管	1310	1330	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760	
黄銅棒快削25ミリ	680	720	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720	
六角棒	710	750	貴金属(一般小口向け)			
四角棒	740	780	白金(グラム)	◎ 3350		
鍛造用	720	760	パラジウム(グラム)	◆ 4293		
ネーパル	820	860	金(グラム)	◆ 4719		
高力	820	860	銀(キログラム)	59500		
黄銅線6ミリ	1075	1120	合金鉄		8月輸入単価(CIF)	
黄銅平角線ロール仕上	1280	1340	フェロマンガ2%以上炭素含有		133	
黄銅条1.5×100	835	880	〃 その他		196.6	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1830	1810	レアメタル輸入価格	8月通関(CIF)	フェロシリコン55%以上	169
〃 バネ用0.3ミリ	2040	2010	金属ケイ素(99.99%未満)	235	フェロクロム4%以上炭素含有	168.4
リン青銅棒25ミリ	2090	2100	モリブデン酸化物	1917	フェロモリブデン純分60%以上	1993
リン青銅線3ミリ	2260	2240	タンタル	55202	フェロバナジウム	6404
洋白板一般用1.0ミリ	2660	2610	マグネシウム	272	フェロニッケル33%未満	461.8
〃 バネ用1.0ミリ	2860	2820	コバルト	9906	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
			インジウム	30740		
減摩合金	10月1日改定		銅合金地金	10月1日発表		
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京	
1種	2655		BC 1種	790	—	
2種	2590		2種	970	—	
3種	2520		3種	1010	—	
4種	2225		6種	850	—	
5種	2135		7種	885	—	
7種	885		YBSC 3種	690	—	
8種	800		LBC 3種	975	—	
9種	715		PBC 2種	1035	—	

